

ほうでえ～

ありゃ～のう

周防大島町の話題



▲新造船を祝いテープカットを行う椎木町長



「かささ」新造船

笠佐島と周防大島（小松港）を結ぶ、行政連絡船「かささ」がこのほど新造され、4月1日に就航しました。

新しくなった「かささ」は、強化プラスチック製で全長10・46メートル、幅2・82メートル、総トン数は4・9トンで、最大搭載人員は13名。運賃は片道大人100円、子ども50円で、1日3往復（水曜日は4往復）片道約7分で結びます。

就航にあたり椎木町長は「笠佐島の皆さんの生活はもとより、来島者の利便性の向上にも大きく寄与するものと期待している」と述べました。

みかん作りの担い手として



▶いきいき営農塾の閉校式で塾長の椎木町長に決意表明する中本圭さん（写真左）

4月5日、柑きつ振興センターにおいて「周防大島みかんいきいき営農塾」の閉講式が行われました。受講生は昨年の5月からみかんの生産技術などを学びました。また、4月20日には野菜づくりの基礎などを1年間学んだ「JA生き活き営農塾」の閉講式もJA山口大島久賀支所で行われました。

スポーツ少年団で救命講習会

3月13日、大島防災センターにおいて、町スポーツ少年団の指導者や保護者を対象に救命講習会が開かれました。

これは、活動中に発生した事故等に適切に救命活動が行えるようにと企画されたもので、町内から指導者や保護者24名が参加。柳井消防署員の指導のもと、心肺蘇生法やAEDの取り扱いについて真剣に学びました。



▶真剣に取り組む参加者の皆さん